



2020年2月  
第11号

発行責任者  
社会福祉法人真光会  
理事長 佐々木鴻文

高木保育園      今町保育園      天竜保育園      梅北保育園

暖冬といわれる今年の冬。節分も過ぎ、確実に春の訪れが近づいているようです。しかし、現在、世界規模で新型コロナウイルス感染による肺炎が流行しており、一般的な衛生対策として、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に、咳エチケットや手洗い、うがい、アルコール消毒などが有効だと言われています。国からの最新情報を正しく把握し、自分でできる予防対策が求められています。

また、今年は半年後には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの外国人が来日するのに伴い、様々な感染症のリスクも高まると思われまます。

また、世界には飢餓に苦しんでいる国もあります。食品ロスについても考えてみましょう。



### 東京オリンピック・パラリンピック を見据えた感染対策

今年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。海外からの渡航者が増え、感染症の発症リスクが高まることに懸念されます。

インフルエンザや蚊媒介感染症(日本脳炎・デング熱)・ウエストナイル熱・チクングニア熱・ジカ熱・マラリア・フィラリアなどが危惧されます。

集団免疫という考え方があり、ワクチン接種率が上がると感染者が減り、接種率が95%以上になると、ワクチン未接種の人ほとんど感染しなくなります。

その他にも、ワクチンで予防できる疾患として、麻疹・風しん・おたふくかぜ・結核などがあり、ワクチン接種が大切です。

また、MERS(中東呼吸器症候群)・エボラなどのウイルス性出血熱・鳥インフルエンザといった致死率の高い感染症も、日本への渡航者が増えると国内に持ち込まれる可能性が高くなります。

東京五輪に向けて、一人ひとりが感染症対策の意識を高めることが求められています。

「日本保育保健協議会 感染症対策委員会」より



### 食べられるのに捨てられる 食品ロス

を考えよう!

「食品ロス」とは食べられるのに廃棄される食品のことです。食べ残しや、消費・賞味期限切れの食品、まだ食べることのできる食材などが捨てられています。

食品ロスを減らす事は「もったいない」の心に通じるものがあります。

家庭でも配膳の際、食べきれない量だけつぐなど、できるだけ食品ロスを減らすように心掛けましょう。

食料自給率が低い日本。多くを輸入に頼っているにもかかわらず、遠い外国から運ばれた食料が日本でゴミとなっているのです。食品ロスについて今一度考えてみませんか?

**＝こんなことがありました。＝**

2/8(土) 前日に雨が降っていて心配しましたが天候にも恵まれ緑地公園にてマラソン大会を開催しました。子どもさん一人一人たくさんの声援の中がんばって走りました。成長を感じられた一日でした。その後園に戻り、御池自然の家の方にお越しいただき防災体験として火災の時の煙体験を親子でしました。煙の怖さを実感できる体験となりました。

**《高木保育園からのお知らせです》**

●2月の園開放は、27日(木)です。  
10時30分より1時間程度です。  
楽しい遊びを用意しています。  
事前に連絡をいただくと助かります。  
連絡先:38-1310

